

鹿市医郷壇



496

樋口 一風 選

兼題「卒業（そつぎよ）」

天

紫南支部 二軒茶屋電停

終活で煩惱も卒業無か未練

(唱) 心い決めつさつぱいとしつ

(評) 卒業とは、「二つの業をおえること」とあり比喩的に、ある程度や段階を乗り越すこと」ともあります。

この句は、世の中のわずらわしさなどから脱却して無の心境になったと、いうような句だと思えます。煩惱を捨ててくることは、凡人にはなかなか難しいことですが、まずは断捨離からでも始めたいと思います。

早くこのように達観したいものです。生きることは卒業しないように。

地

上町支部 吉野なでしこ

もへ卒業鼻すんだれも凜しゆなつ

(唱) 答辞も読んで頼もしか孫

(評) 年月の過ぎるのは早いものです。

小さい頃の孫は元氣者でやんちゃ坊主でした。「鼻すんだれ」とは。鼻水を垂らしたということですが、「やんちゃ坊主」を比喩的に使います。

作者の実感句でしょうか。子供の育つのはまことに早いもので。ランドセルに押しつぶされるようにして入学したのに、今日は晴れの卒業式で、我が孫ながら、凜々しく見えます。

人

伊敷支部 谷山五郎猫

焼酎煙草卒業しきらんメタボ親爺

(唱) 医者どんからな常時叱られつ

(評) 激務な職業についていると、癒す時間が欲しいものです。それが煙草を吸ったり、酒に頼るようになったのでしょう。酒を飲むと、食事が美味しくなり肥満になります。ビール腹ともいいますが、体に脂肪が付くとなかなか痩せるのに苦労するものです。煙草は以ての外ですが酒もほどほどにしましょう。

五客一席

清滝支部 鮫島爺児医

卒業式別れん歌を泣て歌とつ

(唱) 昔しゆ思め出す螢の光

五客二席

伊敷支部 谷山五郎猫

歳し勝てじ天文館な卒業しつ

(唱) 未練なあつが身体が適わじ

五客三席

上町支部 吉野なでしこ

背も伸びつ見知たんじやった卒業式

(唱) 永ご会わんうち凄つぜ大人せなつ

五客四席

清滝支部 鮫島爺児医

開業医仕事勉強無か卒業

(唱) 五体が適のつちや患者じえ寄り添つ

五客五席

飛脚子一郎

美味め飯し卒業あ出来んメタボ腹

(唱) 分かつちやおいが我慢やらんじ

秀逸

清滝支部 鮫島爺児医

ゴルフいにな卒業は無かち仲間と行つ

高段ぬ貰るてん卒業無か詩吟

同窓会卒業ん頃が懐しゆし

皆泣つ答辞をば聞つ卒業式

卒業後忘れんじ貰る年賀状

同級生卒業しつから仲良なつ

上町支部 吉野なでしこ

もへ卒業思たぶんでん出い涙

卒業式親は泣つとん子はしれつ

伊敷支部 谷山五郎猫

コロナ奴れ寒み校庭で卒業式

総入歯ゆばインプラントで婆は卒業

飛脚子一郎

卒園でじつち見られつ固まつ娘

薩摩郷句鑑賞

137

薩摩狂句暦から

三條風雲児著

息子が卒業一息入れた世帯ん繰い

瀬戸口和八久

高校の卒業式に続いて、中学校の卒業式が終わったわけだが、今日あたり、小学校で卒業式が行われるところが多いのではないかと思う。

小、中学校は卒業しても、まだこれから「学校出し」が続くが、高校を卒業して就職する場合、大学を卒業した場合など、学資が要らなくなるので、いくらか楽になるだろう。中七、下五に、その気持が素直にでている。

坂迎けん地鶏や藁苞で首ぶ出せつ

小松 鈍骨

「坂迎け」というのは、遠い旅行から帰った人の歓迎の宴で、昔は、村はずれまで出迎えたものである。

このような宴に招かれると、よく生きた鶏を藁苞に包んで、提げて行くもので

薩摩郷句募集

5号

題吟「恥ね(げんね)」

締切 令和3年4月5日(月)

6号

題吟「道(みつ)」

締切 令和3年5月7日(金)

選者 樋口 一風

漢字のわからない時は、カナで書いて応募くだされば選者が適宜漢字をあててくださいます。

応募先 千八九二・〇八四六

鹿児島市加治屋町三番十号

鹿児島市医師会『鹿児島市医報』編集係

TEL 〇九九・二二六・三七三七

FAX 〇九九・二二五・六〇九九

E-mail: ihou@city.kagoshima.med.or.jp